

① 学習指導案

プログラム	No.1 1 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全8時間)	高槻のまちが住みよくなるようにしよう
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のまちのよさについて、いろいろな見方や考え方に違いがあることに気付く。 ○ 情報収集力を身に付け、情報を効果的に伝えていく方法を工夫する。 ○ まちのよさを活かしていくために必要なことを話し合う。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報収集などの活動を楽しみながら、意欲的に取り組み、地域に関心をもつ。 2 活動を通して得た情報や知識を自分の課題に生かす。 3 活動を通して得た情報や知識をもとにして、地域のよさを見出す。 4 感じたことや気付いたことを、わかりやすく効果的にまとめる。
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末（1人1台）、プリンター ・地域地図、市内のほたるガイドブック ・模造紙、マジック

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2	<ul style="list-style-type: none"> ・景観まちづくり出前授業。 ・地域で確認したいことなど、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や景観はどうなっているか、そこで何を調べたいか、その理由は何かなどを考えるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の意欲 (観察・ワークシート) 課題設定能力 (観察・ワークシート)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の様子や地域におけるほたるの歴史などを調べる。 ・自分の感想を整理する。 ・地域に暮らす人々の誇りや悩みを調べる。 ・取材シートに調べた内容を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた中で、興味や関心をもったことは何か、その理由は何かなどを考えるように促す。 ・地域に暮らす人々は、その場所をどう考えているのか、自分が感じる魅力を地域の人も感じているのか、地域の人の思いを聞いてどう感じたか、など考える視点を与える。 ・高槻小OB（卒業生）と語る会との交流を通して、高槻小やまちの歴史を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題追及能力 (観察・ワークシート) コミュニケーション能力（観察）


3	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力や課題を話し合い、整理する。 自分たちが考える地域の魅力について話し合う。 学習発表に向けてプレゼンテーションを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイントのねらい、発表する相手等、具体的なポイント、発表内容、時間配分等について示唆を与える。 	課題追及能力 (観察・ワークシート)
1	<ul style="list-style-type: none"> 景観まちづくり学習発表会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションを評価する(見やすさ、伝わりやすさ等)。 	自己評価力 (観察、記録) 表現力 (発表、成果物)







<留意点>

- 一人一人が自分事として取り組んでいけるよう、個別に学習活動を支援していく。

② 事業実施報告書詳細

学校名 北九州市立高槻小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	教室	<p>○景観出前授業 景観とは何かを考えながら、北九州市で取り組んでいる「景観まちづくり」について学習する。</p> <p>○高槻のまちの自然や景観について知っていることを出し合い、どんなことを深めていきたいかを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほたる祭り ・槻田川清掃 		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住んでいる北九州には、たくさんの自然や景観があり、それらを守っている取組があることを知った。 高槻のまちづくりについて、自分達にできそうなことを考えることができよかった。
2	教室等	<p>○高槻の自然の様子やほたるの歴史などを調</p>		<ul style="list-style-type: none"> 高槻のまちで、ほたるがどのよう

		<p>べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内にある資料 ・ホタル飼育でお世話になっている池田さんの話 <p>○高槻小卒業の山口さんの話を聞き、地域への愛着や願いを知る。</p>	 	<p>に守り育てられてきたかを知ること で、自分たちも受け継いでいきたいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の高槻小が、今は全く違う様子だったことを知ることができておもしろかった。
3	教室	<p>○高槻のまちの魅力を話し合いまとめる。</p> <p>○地域の魅力を守り引き継いでいくために、自分達ができることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働（ほたる放流） <p>○自分達が学んだことを、まずは全校児童に向けてプレゼンテーションするための資料を作成する。</p>	  	<ul style="list-style-type: none"> ・高槻の自然や景観を改めて知ること で、他の地域にはないよさであることがわかった。 ・自分達にできることをこれまであまり考えてなかったけど、話し合い でいろんな意見を聞くことで、一つずつわかってきた。 ・どんな資料を作ればよいか悩んだ けど、友達に相談することで解決 できてよかった。発表会が楽しみ。
1	体育館	<p>○高槻のまちづくり学習発表会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館に全校児童を集め、6年生が司会進行しながら、自分達が学習した内容を発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・他の学年に伝わるか心配だったけど、どの学年も話をよく聞いてくれたし、感想発表を聞いて、伝わったことがわかってよかった。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちが、日頃慣れ親しんでいる地域を取り上げ、主体的に学習に取り組んでいけるよう、これまでにない視点や考えをもつようにゲストティーチャーとの出会いを工夫した。・地域の景観や自然を守り育てることの明確な意識化をねらって、学習したことを発信する場を設定した。
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <ul style="list-style-type: none">・日程や話していただく内容について、ゲストティーチャーとの打合せと調整をすること。・学習したことを発信する対象を、当初は地域や保護者を考えていたが、場や時間の調整の難しさもあって、全校児童としたこと。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">・自分達が住む高槻のまちのよさを改めて実感できたことがよかった。・ゲストティーチャーの話を聞くことで、高槻の歴史を知ったり、北九州市の景観を守る取り組みを知ったりすることができてよかった。・学習したことをまとめるのは大変だったけど、全校のみんなに向けて発表することができたし、自分達の話を生懸命に聞いてくれる姿を見ることができてうれしかった。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校高学年からまちづくりや景観について考えることで、地域に生きる気持ちや未来のまちづくりへの展望をもつことができることを実感した。・よりよいまちづくりを担う人材を育成の一助となると感じた。・北九州市や高槻のまちに生きてきた先人達の思いや願いが、子どもたちの思いや願いと結びつくことが、このような学習を仕組むことの大きな利点となることがわかった。それにより、子どもたちの自主性が発揮される場をつくることにもなってよかった。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの主体的活動を大事にしつつも、時間数の都合で、教師主導となった場面もあった。今後、学習指導計画における時数をどう確保するかが課題である。・ゲストティーチャーの活用は必要である。そのような地域人材の確保（人材バンクの活用）を日頃から心がけておく必要がある。